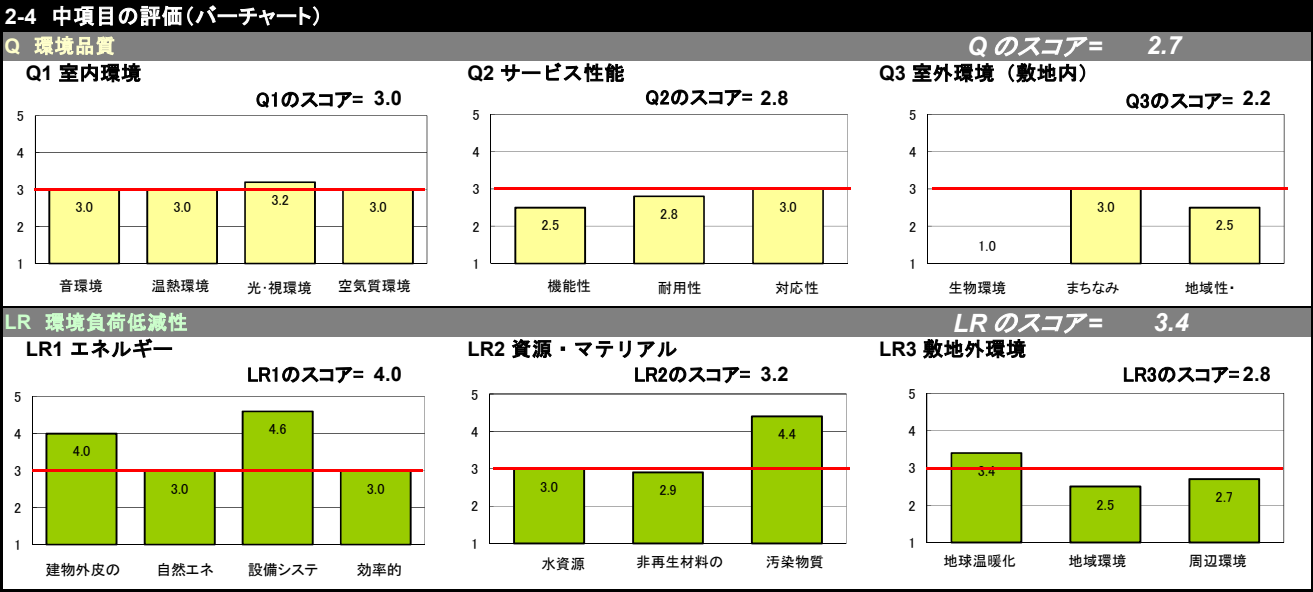
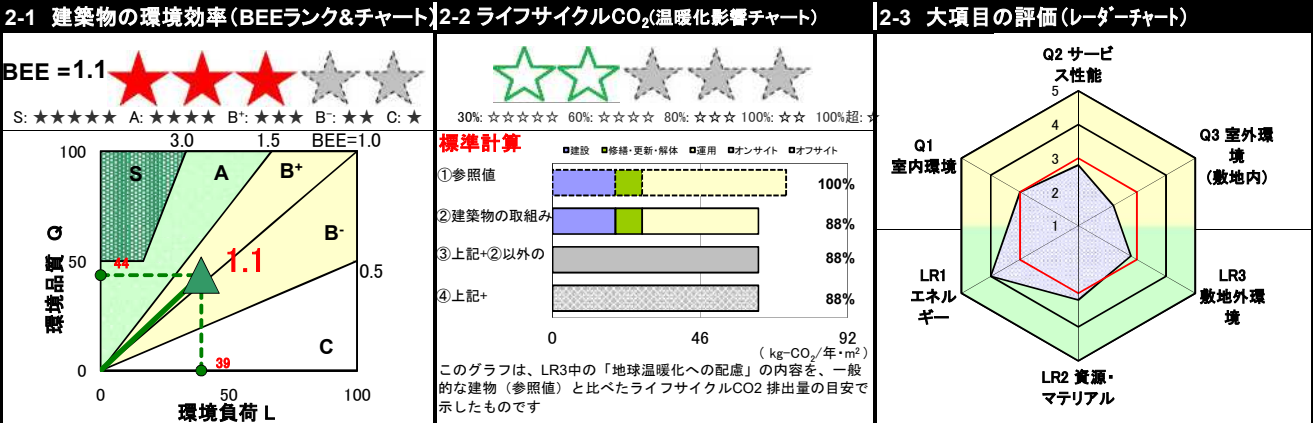


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営住宅新団地A棟	階数	地上5F
建設地	浜松市中央区葉新町107-1、107-2	構造	RC造
用途地域	準工業地域、建築基準法第22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年7月7日
敷地面積	2,890 m ²	作成者	渡辺設計 朝倉
建築面積	575 m ²	確認日	2024年8月1日
延床面積	2,517 m ²	確認者	渡辺設計 中尾



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。 下記内容を満たし、生物環境保全と創出に配慮する為、基準に則った標準的な取り組みを行っております。		
Q1 室内環境 住戸間の界壁をコンクリート厚230mmとし、界壁遮音性能を高めました。 全住戸で住宅性能評価の5等級相当となるU A値0.6以下を確保しました。	Q2 サービス性能 建物耐震性に基準法に定められた耐震性を有しております。 維持管理を考慮し、清掃、維持管理作業等を容易に行えるよう、計画しました。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー 全住戸で住宅性能評価の5等級相当となるU A値0.6以下を確保しました。 屋上部分に太陽光パネルを設置し、創エネへの取り組みを行っております。	LR2 資源・マテリアル 節水に努める為、主要水栓に節水コマを設置しております。 環境に配慮した発泡断熱材を使用します。	LR3 敷地外環境 緑地を一部確保し、地表面温度の気温上昇を抑えております。 敷地周囲の交通負荷抑制として、周辺道路等に配慮した取り組みを行っております。

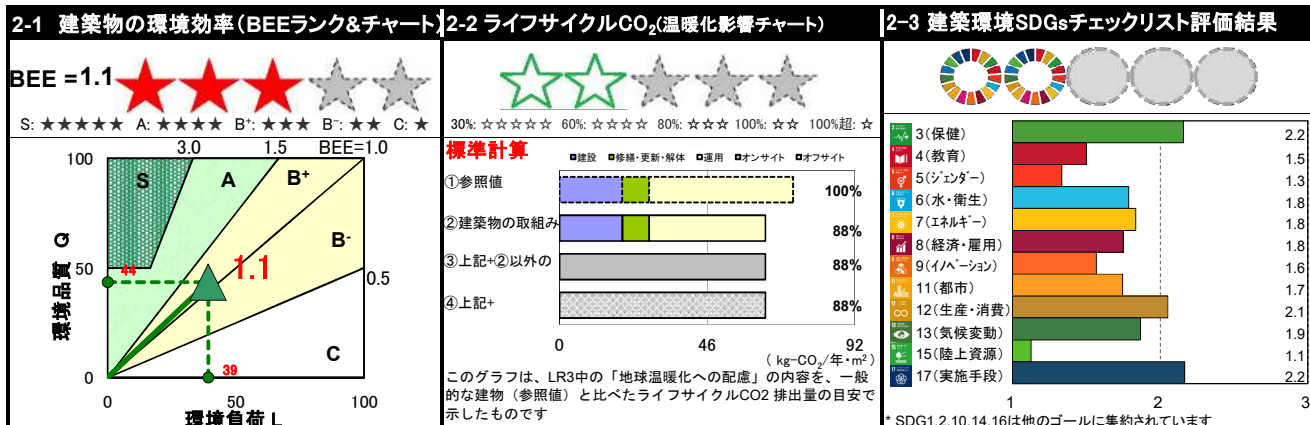
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

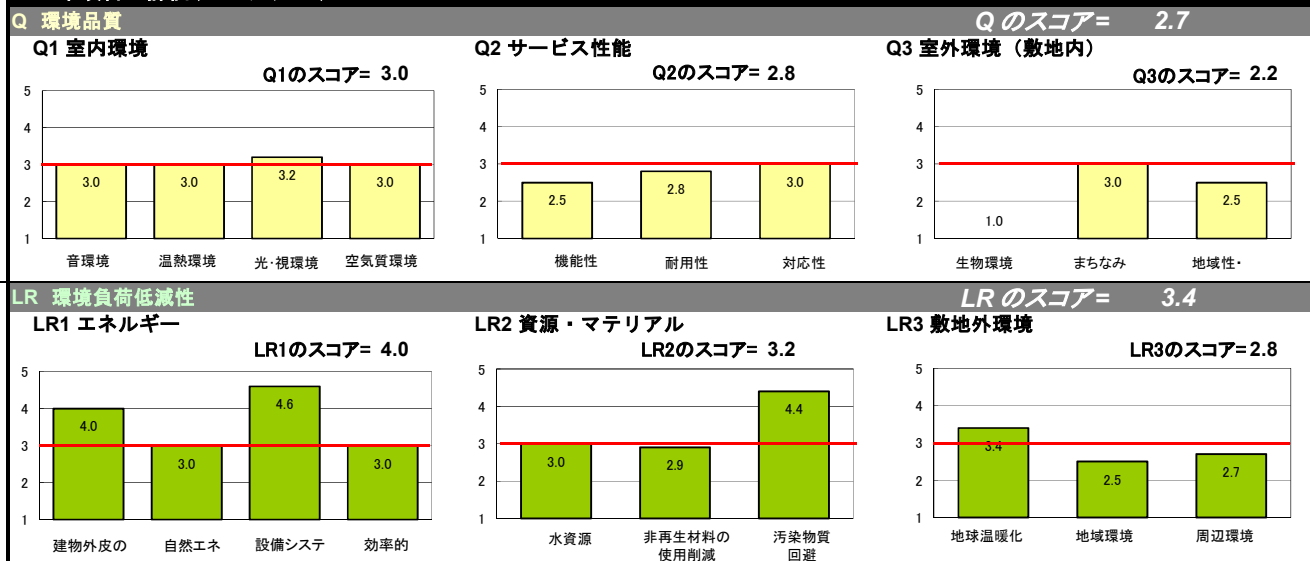
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営住宅新団地A棟	階数	地上5F
建設地	浜松市中央区新町107-1、107-2	構造	RC造
用途地域	準工業地域、建築基準法第22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年7月7日
敷地面積	2,890 m ²	作成者	渡辺設計 朝倉
建築面積	575 m ²	確認日	2024年8月1日
延床面積	2,517 m ²	確認者	渡辺設計 中尾



2-4 中項目の評価(バーチャート)



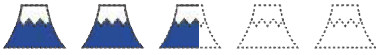
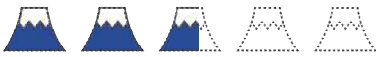
3 設計上の配慮事項

総合		その他
これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。 下記内容を満たし、生物環境保全と創出に配慮する為、基準に則った標準的な取り組みを行っております。		0
Q1 室内環境 住戸間の界壁をコンクリート厚230mmとし、界壁遮音性能を高めました。 全住戸で住宅性能評価の5等級相当となるU A値0.6以下を確保しました。	Q2 サービス性能 建物耐震性に基準法に定められた耐震性を有しております。 維持管理を考慮し、清掃、維持管理作業等を容易に行えるよう、計画しました。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー 全住戸で住宅性能評価の5等級相当となるU A値0.6以下を確保しました。 屋上部分に太陽光パネルを設置し、創エネへの取り組みを行っております。	LR2 資源・マテリアル 節水に努める為、主要水栓に節水コマを設置しております。 環境に配慮した発泡断熱材を使用します。	LR3 敷地外環境 緑地を一部確保し、地表面温度の気温上昇を抑えております。 敷地周囲の交通負荷抑制として、周辺道路等に配慮した取り組みを行っております。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要											
建物名称	県営住宅新団地A棟				BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★		
2. 重点項目への取組み度											
重点項目	得点※/満点		取組み度				評価				
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.0	/5					ふつつ				
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.6	/5					がんばろう				
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.6	/5					がんばろう				
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.2	/5					がんばろう				
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)					評価 凡例		よい 4 点以上 			ふつつ 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 
3. 重点項目についての環境配慮概要											
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					内訳対応項目						
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)					得点		3.0				
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) (※下記記載例は削除し今回計画の環境配慮概要を自由記述) ①全住戸で住宅性能評価の5等級相当となるUA値0.6以下を確保しました ②南面は日射遮蔽、東面は日射取得のLow-E複層ガラスを採用 ④支持方法は、設計用水平震度を1.5以上としております				Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
					Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
							3.2	3.2.1	③	昼光制御	
					Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
							2.2.2	2.2.3	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
							2.2.3	2.2.4	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
							2.2.4	2.2.5	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
							2.2.5	2.2.6	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
							2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)				Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
					3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上		
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦全住戸で住宅性能評価の5等級相当となるUA値0.6以下を確保 ⑨屋上に太陽光パネルを設置し、創エネへの取組みを行います				LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
						2			⑧	自然エネルギー利用	
						3			⑨	設備システムの高効率化	
						4	4.1		⑩	モニタリング	
							4.2		⑩	運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬環境に配慮した発泡断熱材を使用します				LR-2	1	1.1		⑪	節水	
							1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
								1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
						2	2.1		⑫	材料使用量の削減	
							2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用	
						2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
						2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
						2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材		
						2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み		
					3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用		
						3.2	3.2.1	⑬	消火剤		
							3.2.2	⑬	断熱材		
							3.2.3	⑬	冷媒		
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO2排出率が一般的な建物(参照値)と同等になっております				LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮		
					2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善		
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)					得点		2.6				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰支持方法は、設計用水平震度を1.5以上としております				Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
								2.1.2	⑯	免震・制振性能	
							2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
								2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
								2.4.3	⑰	電気設備	
								2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
								2.4.5	⑰	通信・情報設備	
								2.4.5	⑰	通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)					得点		2.6				
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高のゆとりを確保しております				Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱	ユニバーサルデザイン計画	
						3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり	
								3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ	
					Q-3	3	3.1		⑳	地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)					得点		2.2				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)				Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
						2			㉒	まちなみ・景観への配慮	
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)				LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
					LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	